

平成30年度 「横浜市神奈川区民文化センター（かなつくホール）」 収支予算書兼決算書

(2018. 04. 01～2019. 03. 31)

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	112,779,000		112,779,000	112,779,000	0	横浜市より
利用料金収入	29,730,000		29,730,000	27,204,710	2,525,290	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入	1,000,000		1,000,000	1,168,000	△ 168,000	横浜市芸術文化教育プラットフォームなどアウトリーチ
自主事業収入	6,030,500		6,030,500	5,503,577	526,923	
雑入	997,000	0	997,000	938,157	58,843	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	350,000		350,000	339,544	10,456	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他（広告ラック収入・預金利息）	647,000		647,000	598,613	48,387	各媒体の販売料など
収入合計	150,536,500	0	150,536,500	147,593,444	2,943,056	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	60,610,000	0	60,610,000	56,372,075	4,237,925	
給与・賃金	60,610,000		60,610,000	56,372,075	4,237,925	
社会保険料			0	0	0	
通勤手当			0	0	0	共同事業体及び協力会社各社にて負担
健康診断費			0	0	0	共同事業体及び協力会社各社にて負担
勤労者福祉共済掛金			0	0	0	共同事業体及び協力会社各社にて負担
退職給付引当金繰入額			0	0	0	共同事業体及び協力会社各社にて負担
事務費	7,968,000	0	7,968,000	8,678,136	△ 710,136	
旅費	65,000		65,000	210,106	△ 145,106	
消耗品費	599,000		599,000	1,604,559	△ 1,005,559	
会議賄い費	50,000		50,000	12,534	37,466	
印刷製本費	1,450,000		1,450,000	2,563,511	△ 1,113,511	広告宣伝費含む
通信費	720,000		720,000	1,827,070	△ 1,107,070	
使用料及び賃借料	2,166,000	0	2,166,000	2,097,096	68,904	
横浜市への支払分	150,000		150,000	81,096	68,904	目的外使用料（自動販売機）
その他	2,016,000		2,016,000	2,016,000	0	駐車場賃借料
備品購入費	1,500,000		1,500,000	52,661	1,447,339	
図書購入費	0		0	42,068	△ 42,068	
施設賠償責任保険	95,000		95,000	92,490	2,510	賠償責任保険
職員等研修費	300,000		300,000	46,411	253,589	
振込手数料	0		0	5,826	△ 5,826	
リース料	720,000		720,000	24,580	695,420	
手数料	3,000		3,000	23,148	△ 20,148	
地域協力費	300,000		300,000	76,076	223,924	
事業費	12,500,000	0	12,500,000	14,101,128	△ 1,601,128	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費	1,000,000		1,000,000	821,035	178,965	
自主事業費	11,500,000		11,500,000	13,280,093	△ 1,780,093	
管理費	63,476,000	0	63,476,000	55,197,506	8,278,494	
光熱水費	16,990,000	0	16,990,000	15,645,995	1,344,005	
電気料金	9,934,000		9,934,000	11,503,105	△ 1,569,105	
ガス料金	3,689,000		3,689,000	2,160,694	1,528,306	
水道料金	3,367,000		3,367,000	1,982,196	1,384,804	
清掃費	8,000,000		8,000,000	8,683,200	△ 683,200	
修繕費	4,166,000		4,166,000	726,906	3,439,094	
機械警備費	514,000		514,000	518,400	△ 4,400	
設備保全費	18,360,000	0	18,360,000	14,177,157	4,182,843	
空調衛生設備保守	7,800,000		7,800,000	7,950,960	△ 150,960	
消防設備保守	900,000		900,000	518,400	381,600	
電気設備保守	2,700,000		2,700,000	561,900	2,138,100	
害虫駆除清掃保守	600,000		600,000	648,000	△ 48,000	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	6,360,000		6,360,000	4,497,897	1,862,103	舞台設備保守費、ピアノ点検費など
共益費	15,446,000		15,446,000	15,445,848	152	
公租公課	10,000	0	10,000	4,000	6,000	
事業所税			0	0	0	
消費税			0	0	0	
印紙税	10,000		10,000	4,000	6,000	
その他（ ）			0	0	0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	5,972,500	0	5,972,500	13,240,599	△ 7,268,099	
本部分	5,972,500		5,972,500	12,820,406	△ 6,847,906	
当該施設分			0	420,193	△ 420,193	
二一ス対応費				0	0	
支出合計	150,536,500	0	150,536,500	147,593,444	2,943,056	
差引	0	0	0	0	0	
自主事業費収入	6,030,500		6,030,500	5,503,577		
自主事業費支出	11,500,000		11,500,000	13,280,093		
自主事業収支	△ 5,469,500		△ 5,469,500	△ 7,776,516		
管理許可・目的外使用許可収入	350,000		350,000	339,544		
管理許可・目的外使用許可可支出	150,000		150,000	81,096		
管理許可・目的外使用許可可収支	200,000		200,000	258,448		

横浜市神奈川区民文化センター「かなっくホール」平成30年度事業報告

1. 施設の概要

施設名	横浜市神奈川区民文化センターかなっくホール
所在地	横浜市神奈川区東神奈川一丁目10番地1
構造・規模	鉄骨鉄筋コンクリート造地下1階地上19階建ての 地上1階から4階部分の各一部を専有
敷地・延床面積	専有面積 2,950 m ²
開館日	平成16年7月16日

2. 指定管理者

法人名	横浜メディアアド・清光社 共同事業体 代表企業：株式会社 横浜メディアアド
所在地	横浜市神奈川区栄町5番地1
代表者	代表取締役社長 三浦 彰久
設立年月日	昭和58年1月22日
指定期間	平成28年4月1日から平成33年3月31日まで

3. 人員配置

項目	人数
館長	1
副館長（運営担当責任者）	1
事業担当責任者	1
舞台技術責任者	1
施設担当責任者	1
運営担当者	3
事業担当者	1
舞台技術担当者	2
経理担当者	1
カルチャースタッフ（受付）	13

4. 事業実績

（1）利用者数

121,993

開館日数

347

(2) 部屋稼働率

	利用可能数	利用数	利用率	利用者数
ホール	1,041	956	91.8%	55,884人
ギャラリーA	347	340	97.9%	20,094人
ギャラリーB	347	332	95.6%	19,684人
音楽ルーム	1,683	1,462	86.8%	19,118人
練習室A	1,683	1,634	97.0%	3,737人
練習室B	1,683	1,518	90.1%	3,476人
全体	6,784	6,242	92.0%	121,993人

(3) 自主事業実施内容

内容	開催数	参加人数（延べ人数）
アーティスト支援事業	4	695人
地域連携事業	13	2,411人
芸術鑑賞を深める事業（鑑賞型）	32	6,831人
芸術鑑賞を広める事業（体験型）	45	980人
合計	94	10,917人

5. 委託料収支状況【協定書による経費】（単位：円）

項目	予算額	決算額	増△減
収入			
指定管理料	112,779,000	112,779,000	0
利用料金収入	29,730,000	27,204,710	2,525,290
事業収入	8,027,500	7,609,734	417,766
合計	150,536,500	147,593,444	2,943,056

支出			
人件費	60,610,000	56,372,075	4,237,925
管理費	63,476,000	55,197,506	8,278,494
事業費	12,500,000	14,101,128	▲1,601,128
事務費	7,968,000	8,678,136	▲710,136
事務経費	5,972,500	13,240,599	▲7,268,099
公租公課	10,000	4,000	6,000
合計	150,536,500	147,593,444	2,943,056

収支計	0	0	0
-----	---	---	---

平成30年度 横浜市神奈川区民文化センター 自主共催事業報告

No.	タイトル	実施時期	会場	動員数	内容
1	KIDSリビングコンサート (1日2回公演)	4月,8月,11月	ホール 舞台面、 音楽 ルーム	173	0歳～5歳の乳幼児と若い世代の親たちを対象に、クラシック音楽やホールでの舞台鑑賞の幸せな出会いとなる機会を創出した。親しみやすく、ハイレベルな音楽ワークショップ。平日の昼間の開催なので、3歳以上の回の入場者が少なかった。今後は開催日時について再考の必要あり。昨年度のアンケートより、保護者がこの会に求めることが、「音楽による癒し効果」と「クラシック音楽を知る機会」であることがわかった。毎回趣向を凝らし、身近に音楽に触れあうことが出来るように工夫した。
2	真空管アンプの会	4月,9月,12月	音楽 ルーム	56	真空管アンプ愛好者と、音楽を聴くことに興味をお持ちの方など、真空管アンプを中心に地域住民の交流の場となり、参加者の音楽への興味を引き出し、ホールでの音楽鑑賞に繋がった。また定員20名を超えての申込みがあり、賑わった。10時からのセッティングタイムから参加する方が増え、有意義な語らいの場となった。
3	共催事業： よこはま落語会 ①桂宮治独演会 ②春風亭一之輔独演会 ③桂宮治、神田松之丞 二人会 ④柳家三三 ⑤昼席： 桂宮治、三遊亭兼好 夜席： 柳家三三、三遊亭兼好	4月、5月、 7月、11月、 3月2席	ホール、音 楽 ルーム	1,560	神奈川県民が寄席のような身近に落語鑑賞できる機会を、昨年度より、よこはま落語会と共催して、ホールや音楽ルームにて開催。よこはま落語会へは神奈川県民対象にした500円割引のチケットを用意してもらっている。また、よこはま落語会には事業担当へ落語についてご教授いただき、学べる機会ともなっている。
4	Play me ♪ ～ぼくを弾いて、 JAZZピアノで～	5月2日	ホール ホワイエ	26	今回で4回目の開催となったが、毎回初めてのお客様が多い。開催時間が17:30～19:00で仕事帰りの参加に期待が持てず、開催時間を検討していたが、知的障害者施設からの参加者が18:00までしかいられないのこのことを聞き、この時間のまま継続しようと考えている。前回は麻痺の残る車椅子の方、今回は知的障害のある方々の参加があり、赤ちゃんからお年寄りまで「誰でも参加できて楽しめる」というコンセプトの実行を確認。外国人の参加も促したく、来年度は英語での案内も検討する。
5	みんなでDance ♪Dance ♪ ①見る：伊藤キムソロダンス ②知る：伊藤キムとダンスを作る(8回) ③伝える：モモンガと行く！おじいちゃん、おばあちゃん調査隊(3回)アウトリーチ	5月、8月、 10月	ホール、 諸室、 館外	192	①横浜芸術アクション事業のダンスの年に合わせ、助成を受けてのダンスワークショップ。横浜市民の皆様にご参加いただき、コンテンポラリーダンスに親しんでいただくこと、レジデンスアーティストの伊藤キムさん16年ぶりのソロダンス作品のショーイング(上演時間60分)を実施。コンテンポラリーダンスは一般のお客様に浸透しておらず来場者は各回50人程度であったが、好評を得た。 ②老若男女、ダンス経験の有無を問わず、集まった全員が楽しく踊れるダンスを創作し、成果を広く発表するコンセプトを元に、伊藤キムさんと参加者10名(小学生～67歳男性)が創作活動を開始。ハマこいフェスティバルにて発表した。 ③「みんなでDance ♪Dance ♪」の最終プログラム。高校生1名と小学生5名が、プロダンサーの白神モモコさんと共に高齢者に向けたプログラムを作り、高齢者に有効に働くコンテンポラリーダンスのワークショッププログラムを作成実施。世代間交流が楽しみと自信を生んだ有意義なアウトリーチ活動であった。
6	メンデルスゾーンの会 (全6回)	奇数月 (全6回)	ホール	1,684	夜のコンサートに出かけにくい高齢者や子育て世代を対象に、クラシック音楽への興味を深めていただくレクチャー付きランチタイムのコンサート。今年度取り上げる作曲家はメンデルスゾーン。ナビゲーターでもあるピアニストの平沢さんの解説を中心に60分の短めなコンサートではあるが、毎回趣向凝らしながら、メンデルスゾーンの素晴らしさをお客様にお伝えしていった。ピアノ、チェロ、歌曲、最後はオーケストラで締める1年がかりのコンサート形式で実施し、年間パスポートも発行し、毎回満席で好評であった。

No.	タイトル	実施時期	会場	動員数	内容
7	おとなJAZZ	6月15日	ホール	294	「おとなJAZZ」も3年目を迎え、チケットが完売するようになった。本年度はサクスをテーマにし、実力派と呼び声高いサクスプレイヤーの藤陵雅裕さんのカルテットで上質の演奏をお客様に楽しんでもらった。気軽に平日の夜にJAZZを楽しんでいただく企画としてスタートしたが、本格的にJAZZを楽しみたいと思う意欲がお客様から生まれ始めている。
8	アウトリーチ活動 子安小学校	6/28,7/5,7/9	子安 小学校	165	先生方からの要望が「体を動かす図工」であった。大きな作成物で全身を使わせたいとのこと。他学年も遊べるようにダンボール迷路を作成。テーマを国語の事業で習っている「スイミー」の世界にし、子どもたちの創作意欲をかき立たせた。大量の段ボールを使い、アーティスト：玉田多紀さん指導のもと、学校の先生にも協力していただき、2クラスの教室が埋まるほどの大きなダンボール迷路が完成した。
9	リーディングの会 (全2回/各3日)	6月(3回) 9月(3回)	音楽 ルーム	105	申込みは定員を上回る人気ぶりで、午前と午後の部で開催。講師の柏木俊彦さんが丁寧に初回顔合せに時間を割き、初参加者も楽しむことが出来た。シェイクスピアのハムレットは生死についての考え方や捉え方が千差万別であることを参加者はよく理解していて、他の意見を遮るようなことはなく、それぞれの解釈を受け入れることが出来た。発表会では衣装着用の方もいて、取り組みの意識の高さが見受けられた。
10	七夕企画 3件	7月7日	ホワイエ、 ホール	352	七夕の日に、気軽になんかホールでプラネタリウムと朗読を経験していただき、宇宙やお話の世界に思いを馳せ、忙しい毎日を忘れ安らぎのひと時を経験していただく七夕企画、下記の3件を実施した。 ・ミニミニプラネタリウム ・平面プラネタリウムと「なめとこ山の熊」 ・チェロと朗読でつづる「モモ」
11	子どものためのシェイク スピア「冬物語」	7月21日	ホール	69	身近なホールで本格的な演劇鑑賞が出来る機会を提供。演劇公演はすぐには集客に繋がらなく複数回の実施が必要と考える。来年度は「子供のためのシェイクスピアカンパニー」とは共催。なんかホールがツアー初回の開催地となり3回公演を実施する。
12	玉田多紀展 ～ガラパ ゴスの生き物たち～ 開催期間中、 対話型鑑賞会、 ワークショップを各2回開 催。	7月18日～ 29日	ギャラリー	723	若手有望株造形作家を応援し、区民が身近に現代アートに触れる展示企画展を開催。リサイクルされるダンボールの循環過程で別の生き物に変化させることで、生命についてや社会生活について考えることを訴える造形作家の玉田多紀さんの作品を新作を含め11点展示。夏休み期間という事もあり、戸塚区や埼玉から中学校の美術部の生徒が団体で来館、鑑賞した。開催期間中に対話型鑑賞会、ワークショップを各2回開催。
13	おやじビアホール 出舞一丁！	8月3日～4日	ホワイエ	529	パフォーマンスから一番遠いところにいる「おやじ」に焦点を当て、ダンスを教えパフォーマンスする喜びを感じさせる。おやじパフォーマーグループ「出舞一丁」の発表の場として昨年度から開催したビアホールが好評。金曜夜は盛り上がるが、土曜日昼からの客足が若干低迷した。来年度は平日夜を2回開催を検討。PRとして六角橋や大口駅前商店街の流し芸などにも参加した。新人2名の追加参加あり。
14	共催事業： アレクサンダーテクニ ク	7月30日～ 8月5日	ギャラリー	105	講師にイラン・レイシェルさんを招いて学びを深める機会とした。当館では、体の使い方を見直し自分と対話が出来ようアレクサンダーテクニク東京スタジオと共催して、神奈川区民がアレクサンダーテクニクに触れる場を提供している。6日間連続昼の講座には、脳卒中のリハビリ目的の男性の参加あり。夜の講座は日替わりで音楽や演劇、座学、能と様々なツールを取り入れ、実施した。

No.	タイトル	実施時期	会場	動員数	内容
15	共催事業:対話型芸術鑑賞(VTS)ファシリテーター養成講座	8/4、5、9/2	音楽ルーム	45	参加者同士で展示作品から感じたことをおしゃべりしながら鑑賞するツアー。ひとりで見ているときには、見えなかったものが見えてきたり、感じ方が変わったりするNYの現代アート美術館MOMAで開発された新しい鑑賞方法を紹介する機会を設けた。
16	共催事業: プログラミング言語 VISCUITファシリテーター養成講座	8月8日	ギャラリーB	15	コンピュータのプログラミングも進化し、誰もが簡単にプログラミングできる時代になってきた。開発陣が長年にわたって知りえたノウハウ・メソッドを凝縮して教える。プログラミングが教科として加わりつつあり、現役の先生も参加した。
17	KIDS DAY 10企画	8月11日	全館	300	当日申込みや自由参加、親子ペアで参加する事業などを新たに追加した。また、地域作業所、パン屋、菅田地区の朝採れ野菜も販売するマルシェも同時開催。全館を使いイベントを開催し、にぎわった。①ダンボールde恐竜を作ろう!②KIDS meet ハーブ③タブレットdeプログラミング④おこちゃまDisco!⑤僕らの劇場2018ワークショップ発表会⑥Marino Produce Kids Dance Show Case⑦みんなの森を作ろう!⑧みんなの森のお話しを作ろう!⑨みんなの森のお話しコンサート⑩みんなでDance♪Dance♪
18	おとなワークショップ ①鼓を打つ ②アレクサンダーテクニーク ③抹茶体験	8月11日～ 12日	ギャラリー	85	それぞれプロの指導によるワークショップは充実した時間が持てると好評。
19	ワガノワバレエ 特別レッスン	8月11日 ～13日	ホール 舞台面	156	世界最高峰のバレエ学校の教師のテクニック重視の日本のレッスンとは違う、表現重視のレッスンを受けることにより、より世界に飛躍するアーティストを養成する機会とした。
20	共催事業: ティーンズアコースティックサミット	8月9日	ホール	300	施設利用の少ない若年層に働きかけ、利用を促すだけでなく、同世代の若者の交流拠点となるようにコンテストを開催する。原則アコースティックミュージックで活動している10代の方(弾き語りやバンドなど)が出演。ゲストバンドや音楽関係者からのアドバイス、ライブ映像データ、野外イベントの出演権を特典とした。舞台技術スタッフ、カメラマンはプロで固め、ホールならではの経験の場を提供した。YOKOHAMA O-SITEとの共催事業。
21	若手応援寄席	9月8日	ホール	125	落語に興味はあるが敷居が高いと感じている地域住民や、真打を目指して場を求めている二つ目や前座への場の提供を兼ねて、低料金で楽しめる企画を実施している。 出演者は二つ目の若手同士で気兼ねなく話せる交流の場にもなっている。来年度は認知度を上げて200席超すように広報に力を入れていきたい。
22	3人ぐらいdeシェイクスピア「ハムレット」	9月14日、 15日	ホール	126	難解なシェイクスピア劇を分かりやすく60分にリメイクし、3人の役者によるリーディングと音楽で繋ぎ、演劇に親しんでいただく機会とした。シェイクスピアの「ハムレット」のタイトルは知っているが、中身は良く知らないという初心者にはとても分かりやすい内容と好評価であった。平日夜のプレビュー公演を追加し、2回公演にしたが来場者が二つに分かれて集客が低迷した。広報の問題もあるが、来年度は演劇鑑賞者のすそ野を広げられるような取り組みも行いたい。

No.	タイトル	実施時期	会場	動員数	内容
23	曲目解題コンサート (全3回) 第1夜 ハイドン「皇帝」 第2夜 フランク:チェロ 第3夜 メンデルスゾーン: イタリア	10月5日、 11月2日、 29日	ホール	381	60分プログラム。前半は作曲家や曲に込められた思いを奏者が解題し、後半で1曲を通して聴くことにより、鑑賞を深めるレクチャーコンサート。第1夜は新日本フィルハーモニー交響楽団を中心に弦楽四重奏、第2夜では世界的チェリストのステイーヴン・イッサーリスさんとピアノのコンニー・シーさんによるこの上なく贅沢な1曲だけの曲目解題コンサートであった。第3夜はカメラータかなっくによる演奏。このシリーズの面白さがまだ浸透していないのが要因で客足は振るわなかった。
24	ようこそ魔法の国へ ①魔法の箱探検隊 かなっくKIDSプログラム ②ようこそ魔法の国へ miniminiオペラ 「セビリアの理髪師」	10月27日	ホール	233	①扉前室を洞窟に見立て、客席をあ列～こ列まで探検しながら巡り、舞台上でクイズ形式で音楽を聴く3歳～5歳対象の音楽ワークショップ。 ②ホールを魔法の箱に例え、扉を開けると不思議な世界に入り込み、60分間でオペラを鑑賞できる、家族で参加でき、楽しくオペラに触れられる導入企画。
25	アウトリーチ 神大寺小学校	10月15日 22日 11月6日	神大寺 小学校	130	日本の古典芸能である狂言に親しみ、教科書だけでは分からない、狂言の奥深さを知り、学びを深める(3回の体験型)アウトリーチを実施。参加した児童は狂言師から直接、指導を受けたり、話しを聞くことにより、伝統芸能を守る狂言師の思いや昔の人々の思いにも触れる事ができた。
26	アウトリーチ 錦台中学校	10月1日 16日 17日 29日	錦台 中学校	600	プロのアーティストから刺激を受け、そのジャンルのアートに触れ、親しんだ。今年で3年目になる錦台中学校へのアウトリーチにはソプラノ歌手の中江早希さんが講師として参加。3日間のプログラムは、初日に全生徒600人に対してデモンストレーションとしてラ・ボエムのムゼッタのワルツと、魔笛の夜の女王のアリアが披露された。二日目、三日目は課題曲を指導、合唱祭では3年生の合唱が飛躍的に素晴らしいものになっていた。
27	はじめの一步コンサート	11月2日	ホール	106	ファーストコンサートに向けて5歳から参加できるレクチャーコンサートを実施。クラシック音楽のコンサートの聴き方や作曲家の思いや楽器の作りなどを解説し、音楽鑑賞へ無理なく導入するプログラムであった。世界的チェリストのステイーヴン・イッサーリスさんによる子どものためのコンサートには、子どもよりは大人の来場者が多かった。コミュニティホールとして地域の子どもたちを対象としたが、来場者数は残念ながら伸びなかった。
28	リガ大聖堂少年合唱団 クリスマスコンサート	12月7日	ホール	269	海外の合唱団に触れ、合唱の奥深さを知り、家族でクリスマスシーズンを楽しく過ごすコンサートを実施し、好評であった。
29	アウトリーチ 幸ヶ谷小学校	12月3日	幸ヶ谷 小学校	350	音楽をツールとし、リガ大聖堂少年合唱団と交流した。同世代の少年合唱団の質の高い合唱曲に触れ、音楽の素晴らしさに共感できたと思う。また、出演者と、言葉に頼らず音楽を通してコミュニケーションを図り、自己表現と全体との調和を模索し、音楽だけでなく、国を超えての交流等からも刺激を受け、豊かな学びとなった。
30	アウトリーチ 神奈川小学校	11月28日、 12月4日、 11日、18日	神奈川 小学校	67	歌舞伎囃子方の表現方法を学び、日本の古典芸能を知るアウトリーチを実施。我が国のリズムや旋律に親しみ、自分たちの表現を工夫することを目的に、まずは歌舞伎について知り、歌舞伎囃子方が使う色々な楽器や音色に親しみ、五線譜では表せない日本の楽器を、お囃子古典フレーズの「狂言カッコ」を演奏し、水や雨、雪、風など自然の音を工夫しながら表現し、5チームに分かれ作曲をし、発表した。

No.	タイトル	実施時期	会場	動員数	内容
31	かなつく寄席 新春初笑い桂歌丸一門兄弟会	1月5日	ホール	234	身近なホールで落語に触れる鑑賞機会を提供。開演前に故桂歌丸さんの音声を流した。昨年度かなつく寄席 歌丸、歌助親子会で収録した「つる」である。1番弟子から3番弟子までの演目終了後、鼎談も開催。来場者とともに故歌丸さんを偲んだ。
32	アウトリーチ 横浜市立盲特別支援学校	1月17日	盲特別支援学校	100	チェロとリーディングプログラムのアウトリーチを実施。アーティストの音を聴き、自己表出が数多くできるように内省を起し、提示されたプログラムに対して素直に受け止め、感じる気持ちを育てる。また、この鑑賞を、子どもたちの今後の豊かな余暇の過ごし方に繋げる。
33	共催事業： GEROショーケース あなたはわたしのなんなの？	2月12日～ 14日	ホール	190	レジデンス・アーティスト伊藤キムさんが主宰するフィジカルシアターカンパニーGEROがTPAM(国際パフォーマンスアートミーティング)のフリンジ企画に参加しての実験的なショーケース40分作品を上演した。ホールホワイエ、客席、そして舞台へ移動するパフォーマンス。鑑賞者との境を曖昧にし、コンテンポラリーダンスでありながら演劇的要素も含み、パフォーマンスはセリフを発する。相変わらず、訳の分からない腑に落ちない不思議さで鑑賞者の既成概念を揺さぶる面白い作品であった。
34	こどもJAZZ 2回公演	3月3日	ホール	520	かなつくホール初のオリジナルJAZZ企画。赤ちゃんは早いリズム、そして低い音、5拍子が好きであることが分かり、JAZZは赤ちゃんに有効に働くことが判明。若いママやパパ、赤ちゃんも楽しめるJAZZコンサートを企画した。スタンダードナンバー中心に子どもが飽きないよう工夫し、視覚効果も併せてオリジナルの動くイラストを投影した。JAZZピアニスト宮本貴奈さんを中心にトリオ+ヴォーカル。アンケートは好評。また、開催日のひな祭りに合わせ季節感溢れる飾りつけをホールホワイエに施した。
35	神奈川区民ミーティング ①「スマイルまちづくりWS」	3月29日	音楽ルーム	8	今まで年1回開催「神奈川区民に意見を聞く会」を「スマイルまちづくりワークショップ」と改名し、芸術により町のみんが笑顔になる「まちづくりプロジェクト」に一步を踏み出した。2019年度より本格的に取り組む予定。今回は実験的にワークショップ形式で意見を聞いた。
36	共催事業： 打楽器アンサンブル チフェスタ2019 みんなでポレロ ～世界リズム漫遊記～	3月30日	ホール	280	レジデンス・アーティストの神田佳子さんがプロデュースする「打楽器アンサンブルチフェスタ」の3年目。今回は世界のリズムを辿りながら世界旅行し、最後はポレロで締めくくった。年々お客様が増えており、今回は280名と完売に迫る勢いがあった。出演者総勢26名が舞台上に所狭しと並ぶ打楽器を打ち鳴らすステージパフォーマンスは圧巻。神奈川区民の中にも毎年このコンサートを楽しみにしておられる方がいて、打楽器のリズムに元気を貰えると喜ばれた。
37	アウトリーチ： 神奈川図書館 チェロと朗読 宮沢賢治原作「なめとこ山の熊」	3月10日	神奈川図書館	50	毎年、7/7に開催しているチェロとリーディングプログラムを、日曜日の閉館後の図書館で再演するアウトリーチも3年目となる。定員は立ち見も入れて50名。今回は唸家の瀧川鯉丸さんと新日フィルのチェリスト弘田徹さんが出演。7/7のホール公演にいらしたお客様が、全く違う魅力があると驚いていた。
38	共催事業： 神奈川図書館	3/1～4/7	神奈川図書館	214	芸術鑑賞に欠かせない知識の1つにシェイクスピア作品があるが、最近では本屋に置かれることが少なく、置かれていても1、2作しかない状況。図書館でも貸出数は低迷しており、シェイクスピアの名前を聞いたことが無い人も大勢いることを鑑み、神奈川区民の皆様シェイクスピア作品を提案。春休みを利用してシェイクスピア作品を読んでいただき、感じたことを絵にする「シェイクスピア感想画コンクール」を神奈川図書館と協力し、開催した。
	全68事業開催		動員総数	10,917	